

令和 7 年度

事業報告書

自：令和 7 年 4 月 1 日

至：令和 8 年 3 月 31 日



社会福祉法人 緑 風 会

特別養護老人ホームしいの木の郷
ショートステイしいの木 の 郷
デイサービスセンターしいの木 の 郷
居宅介護支援事業所しいの木 の 郷
ケアハウス しいの木 の 郷
特別養護老人ホーム花ノ木の郷
ショートステイ花ノ木の郷

1. 拠点の概要

(1) 拠点区分：しいの木の郷

埼玉県三郷市番匠免1-314

事業名	開始年月日	事業内容	定員
	変更年月日		
特別養護老人ホーム しいの木の郷	平成11年 5月1日 令和 2年 4月1日	介護老人福祉施設	50名 74名
社会福祉法人緑風会 しいの木の郷	平成11年 5月1日 令和 2年 4月1日	短期入所生活介護 (介護予防)短期入所生活介護	10名 6名
デイサービスセンター しいの木の郷	平成11年 6月1日 平成30年 4月1日	通常規模型通所介護 総合事業通所型	20名 18名
居宅介護支援事業所 しいの木の郷	平成11年10月1日	居宅介護支援	

(2) 拠点区分：ケアハウス

埼玉県三郷市番匠免1-314

事業名	開始年月日	事業内容	定員
	変更年月日		
ケアハウス しいの木の郷	平成11年 7月1日 平成26年11月1日	軽費老人ホーム	50名 24名

(3) 拠点区分：花ノ木の郷

埼玉県桶川市加納1824-1

事業名	開始年月日	事業内容	定員
	変更年月日		
特別養護老人ホーム 花ノ木の郷	平成19年 5月1日	介護老人福祉施設	90名
ショートステイ 花ノ木の郷	平成19年 5月1日	(介護予防)短期入所生活介護	10名

2. 役員等

(1) 理事6名 監事2名 任期：令和7年6月23日～令和9年6月

役 職	氏 名	備 考
理事長	篠 田 實	
理事	篠 田 浩 一	
理事	関 根 隆 俊	
理事	畠 山 義 行	
理事	萩 原 良 久	
理事	山 田 直 樹	
監事	島 田 規 男	
監事	田 中 孝 幸	

(2) 評議員9名 任期：令和7年6月23日～令和11年6月

役 職	氏 名	備 考
評議員	齊 藤 美智也	
評議員	小 阪 秀 史	
評議員	木 津 祐 教	
評議員	篠 田 登喜雄	
評議員	馬 場 基	
評議員	篠 田 竹 史	
評議員	岩 田 誠	
評議員	酒 井 雄 二	
評議員	篠 田 孝 一	

3. 理事会の状況

第1回理事会

日 時： 令和 7年 6月 5日 午前10時00分 ～ 11時10分

出席者： 理事6名 監事2名

審議事項： 第一号議案 令和6年度事業報告について
第二号議案 令和6年度決算報告について
第三号議案 評議員選任候補者「斎藤美知也」氏の推薦について
第四号議案 評議員選任候補者「小阪秀史」氏の推薦について
第五号議案 評議員選任候補者「木津祐教」氏の推薦について
第六号議案 評議員選任候補者「篠田登喜雄」氏の推薦について
第七号議案 評議員選任候補者「馬場基」氏の推薦について
第八号議案 評議員選任候補者「篠田竹史」氏の推薦について
第九号議案 評議員選任候補者「岩田誠」氏の推薦について
第十号議案 評議員選任候補者「酒井雄二」氏の推薦について
第十一号議案 評議員選任候補者「篠田孝一」氏の推薦について
第十二号議案 評議員選任・解任委員会の委員の選任について
第十三号議案 評議員選任・解任委員会の招集について
第十四号議案 「篠田實」氏を理事に選任することについて
第十五号議案 「篠田浩一」氏を理事に選任することについて
第十六号議案 「関根隆俊」氏を理事に選任することについて
第十七号議案 「畠山義行」氏を理事に選任することについて
第十八号議案 「萩原良久」氏を理事に選任することについて
第十九号議案 「山田直樹」氏を理事に選任することについて
第二十号議案 「島田規男」氏を監事に選任することについて
第二十一号議案 「田中孝幸」氏を監事に選任することについて
第二十二号議案 清掃業務委託契約について
第二十三号議案 定時評議員会の招集について

報告事項： 理事長による職務執行状況の報告

1. 理事長専決事項等の報告

その他

第2回理事会

日 時： 令和 7年 6月23日 午前11時00分 ～ 11時10分

出席者： 理事6名

審議事項： 第一号議案 理事長の選定について

第3回理事会

日 時： 令和 7年 9月25日 午前10時00分 ～ 10時45分

出席者： 理事6名 監事2名

審議事項： 第一号議案 給食業務委託契約について

報告事項： 理事長による職務執行状況の報告

1. 理事長専決事項等の報告

その他

第4回理事会

日 時： 令和 7年12月18日 午前10時00分 ～ 10時25分

出席者： 理事6名 監事2名

審議事項： 第一号議案 長期運営資金の借入について

第二号議案 清掃業務委託契約について

報告事項： 理事長による職務執行状況の報告

1. 理事長専決事項等の報告

その他

第5回理事会

日 時： 令和 8年 3月25日 午前10時00分 ～ 11時20分

出席者： 理事6名 監事2名

審議事項： 第一号議案 令和7年度補正予算（案）について

第二号議案 令和8年度事業計画について

第三号議案 令和8年度予算（案）について

第四号議案 役員賠償責任保険の契約について

第五号議案 評議員会の招集について

報告事項： 理事長による職務執行状況の報告

1. 理事長専決事項等の報告

その他

4. 評議員会の状況

第1回評議員会（定時評議員会）

日 時： 令和 7年 6月23日 午前10時00分 ～ 10時50分

出席者： 評議員7名 理事2名

審議事項： 第一号議案 令和6年度事業報告について

第二号議案 令和6年度決算報告について

第三号議案 「篠田實」氏を理事に選任することについて

第四号議案 「篠田浩一」氏を理事に選任することについて

第五号議案 「関根隆俊」氏を理事に選任することについて

第六号議案 「畠山義行」氏を理事に選任することについて

第七号議案 「萩原良久」氏を理事に選任することについて

第八号議案 「山田直樹」氏を理事に選任することについて

第九号議案 「島田規男」氏を監事に選任することについて

第十号議案 「田中孝幸」氏を監事に選任することについて

第2回評議員会

日 時： 令和 8年 3月30日 午前10時00分 ～ 10時50分

出席者： 評議員8名 理事2名

審議事項： 第一号議案 令和7年度補正予算（案）について

第二号議案 令和8年度事業計画について

第三号議案 令和8年度予算（案）について

5. 職員の状況

令和 8年 3月31日 現在

拠点名	正規職員	非正規職員	拠点計
しいの木の郷	42人	23人	65人
ケアハウス	3人	2人	5人
花ノ木の郷	54人	16人	70人
合 計	99人	41人	140人

（嘱託医は除く）

6. 事業別事業報告書

事業所名 **特別養護老人ホームしいの木の郷**

1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支2相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	150	155	150	155	155	150	155	150	124	124	112	93	1,673
要介護2	180	186	159	155	155	142	124	150	155	124	110	124	1,764
要介護3	540	581	605	674	653	636	682	591	606	664	716	713	7,661
要介護4	1,063	1,116	1,021	1,001	1,022	993	1,023	940	977	930	738	938	11,762
要介護5	317	279	290	310	310	300	305	356	387	399	352	404	4,009
小 計	2,250	2,317	2,225	2,295	2,295	2,221	2,289	2,187	2,249	2,241	2,028	2,272	26,869

(延人数)

中止・外泊	28	121	59	96	215	95	126	338	197	115	65	50	1,505
-------	----	-----	----	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	----	----	-------

(件数)

保険請求	78	75	77	75	77	76	75	76	74	75	74	75	907
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新 規	3	1	2	1	3	2	1	2	4	2	4	2	27
終 了	4	0	3	1	3	2	1	6	1	5	1	1	28

2. 概況及び動向

令和7年4月～5月にかけては新型コロナ、インフルではない肺炎症状の方が増え、入院多数。
7月より、フロアでの面会を再開、利用者様、ご家族様の笑顔をたくさん見ることができた。
8月新型コロナクラスター発生。その後10～12月にかけて感冒症状から呼吸器症状悪化してしまい、入院した方が多数。入院人数は前年度比で441名増加し、外泊率は5.57%と高い水準になってしまった。症状が悪化するスピードも早いのが、拡散防止の対応も慣れてきている。
今年度は看取り介護を選択して下さった方が7名。ご家族様に会え、住み慣れた施設での最期となった。またICT機器(眠りスキャン、インカム)の導入を行い、より良い介護サービスの提供に向けて動き始めている。
令和7年度の稼働率は99.5%、入所待機者は令和8年4月時点で110名となっている。

3. 課題

引き続き、正しい感染対策を行い、感染の拡大を最小限にとどめる。
看取りの取り組みを継続し、ご家族や往診医と協同でケアに取り組み、看取り介護をより充実していく。
介護技術向上のため、施設内外にて研修に参加し、必要な知識・技術の習得に力を入れる。
またICT機器を活用し、入所者の状態を把握し情報の共有をスムーズに行い、適切な介護サービスを提供していく。

事業所名

社会福祉法人緑風会しいの木の郷

1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支2相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	14
要介護2	0	0	0	0	0	5	6	0	0	0	4	27	42
要介護3	43	44	80	60	50	34	9	9	38	48	37	39	491
要介護4	29	6	25	80	76	32	12	13	9	10	16	50	358
要介護5	0	18	35	10	31	38	37	30	31	8	0	0	238
小 計	72	68	140	150	157	123	64	52	78	66	57	116	1,143

(延人数)

中止・外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(件数)

保険請求	7	5	9	9	8	10	7	4	6	6	4	6	81
------	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	----

(実人数)

新 規	5	6	10	10	1	9	8	3	7	6	7	8	80
終 了	6	4	8	7	4	11	7	5	5	7	7	7	78

2. 概況及び動向

ショートステイの利用控えが継続しているか、問い合わせも減少している。入所待機上位者に対してショートステイの利用を案内し、稼働率の向上を図った。また、緊急ショート要請に対しては柔軟に対応することができた。しかしながらコロナではない感冒症状の流行が2回ほどあり、新規受け入れ困難時もあった。稼働率は前年度比+0.2%の55.0%となった。

3. 課題

新規利用者の獲得に向けて、令和8年度も各居宅介護支援事業所と連携を図っていく。
ショートステイの利用控えもまだ感じられるが、緊急ショートへの柔軟な対応、特養空床利用、入所待機上位者へのショートステイの案内等を引き続き行っていく。

事業所名

デイサービスセンターしいの木の郷

1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	18	11	12	14	11	12	5	4	4	2	1	4	98
支2相当	21	19	29	28	29	30	27	30	35	38	43	42	371
要介護1	88	92	88	95	102	90	90	88	81	72	65	76	1,027
要介護2	38	35	29	29	27	32	34	26	33	33	38	37	391
要介護3	53	64	67	66	55	65	69	69	74	57	63	70	772
要介護4	56	56	47	58	56	53	54	53	54	46	27	39	599
要介護5	3	5	2	5	4	3	5	2	4	3	4	3	43
小 計	277	282	274	295	284	285	284	272	285	251	241	271	3,301

(延人数)

中止・外泊	26	27	14	18	11	15	18	14	9	36	36	19	243
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	-----

(件数)

保険請求	31	32	31	32	30	31	29	30	30	30	30	30	366
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新 規	0	1	1	1	1	0	0	1	0	2	1	0	12
終 了	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

2. 概況及び動向

令和7年度稼働率59.7%、前年比-10.4%となった。

ショートステイを利用する方、施設入所となるケースが増え、利用者数減となった。反面新規依頼件数も減り新規利用者獲得が難しくなっている。

3. 課題

新規利用者の獲得。

サービスやレクリエーションの内容の充実を図り、選ばれるデイサービスを目指していく。

稼働率を前年平均の70%台に回復させ、その状態を維持できるように運営していく。

事業所名

居宅介護支援事業所しいの木の郷

1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
支2相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	55	60	57	56	52	50	50	47	49	50	49	48	623
要介護2	35	36	31	36	37	38	39	38	38	33	37	37	435
要介護3	31	29	32	29	27	26	25	19	25	22	22	21	308
要介護4	19	22	18	19	17	18	16	17	15	19	16	24	220
要介護5	7	6	6	6	6	6	9	7	7	7	6	7	80
小 計	148	154	145	147	140	139	140	129	135	132	131	138	1,678

(延人数)

中止・外泊	7	7	7	6	6	6	6	8	9	7	7	9	85
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

(件数)

保険請求	148	154	145	147	140	139	140	129	135	132	131	138	1,678
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

(実人数)

新 規	6	5	4	7	1	4	4	3	8	5	8	2	57
終 了	6	2	3	3	6	6	2	4	3	7	3	7	52

2. 概況及び動向

今年度も虐待などの支援困難なケースが多く、地域包括支援センターや行政と連携をとりながら、解決に向けて取り組んでいる。前年度と比較して、死亡や入院、入所などの終了者が多く、数字が落ちてしまったが、地域包括支援センターや病院の相談員からの依頼は断らずにすべて受けてきた。

ケアマネジャーの役割として利用者および家族の意向に沿ったより良い支援が出来るように、事業所全体で取り組んでいく。

3. 課題

・入院が長期になる見込みの場合、積極的に新規獲得に努める。

事業所名

ケアハウスしいの木の郷

1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初人員	20	22	22	21	20	20	19	19	19	19	21	21	243
													0
													0
													0
													0
													0
													0
小 計	20	22	22	21	20	20	19	19	19	19	21	21	243

(延人数)

中止・外泊													0
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(件数)

保険請求													0
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(実人数)

新 規		2						1	1		2		6
終 了				1	1		1	1	1				5

2. 概況及び動向

令和7年度は認知症症状の進行やADL低下や体調不良により5名が退所となった。

入居の背景も多様化しているため、自身の意思で入居されても集団生活に慣れずに戸惑いを見せる方もいる。以前より、入居される年齢が高くなっているため、生活に慣れるまで時間が掛かってきている。また、高齢になってからの引っ越しをされるため、その間に認知症症状が進行しつつある方も数名入居されている。入居されている方の入居期間も短くなっている。入居者の年齢と共にADL低下もあるため、声掛けや見守りが必要になっている。問合せの際に、家族とも疎遠だったり単身者も増えており、日常生活で親族との関わりも薄いため、家族や親族から入居依頼があるものの、体験入所を実施した際に認知症症状進行されている方やADL低下の方や精神面が自立されていない方や家族の協力も難しい方がいた。

3. 課題

入居の相談はあるものの、家族の居ない単身者や疎遠の方も増えて来ているが、ケアハウスでは家族の協力が第一なので入居には至らない。居宅介護事業所からの紹介はあるものの、体験入所実施してみると生活が自立されていない方も多かった。また、病院から現在入院されている方の紹介もあったが、日常生活するには難しい方もいた。自立型ケアハウスの理解をされていないと思われた。最近の傾向では三郷市内の入居者も増えている。今後も地域包括支援センターや居宅介護支援事業所や病院に対する周知も継続して行っていく。最近はメールの問合せもあるので即対応していく。

1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支2相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	240	248	240	233	227	300	310	270	279	279	224	248	3,098
要介護2	360	319	300	317	332	286	319	300	279	279	251	255	3,597
要介護3	772	841	828	865	915	870	892	913	930	930	854	993	10,603
要介護4	853	918	834	874	868	749	739	769	830	789	672	790	9,685
要介護5	439	434	480	456	434	425	434	416	462	485	417	434	5,316
小 計	2,664	2,760	2,682	2,745	2,776	2,630	2,694	2,668	2,780	2,762	2,418	2,720	32,299

(延人数)

中止・外泊	27	7	4	19	3	8	44	3	10	10	44	40	219
-------	----	---	---	----	---	---	----	---	----	----	----	----	-----

(件数)

保険請求	90	92	91	93	90	90	91	90	90	92	91	90	1,090
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-------

(実人数)

新 規	4	3	2	4	2	2	5	3	1	3	4	6	39
終 了	2	3	1	4	2	5	4	0	1	4	5	2	33

2. 概況及び動向

1 本年度の運営状況については、平均入居期間が前年度と比較して短縮傾向にありました。これは、入居者の重度化に伴う看取り期の対応が増加したことや、医療ニーズの高まりによる退所サイクルの変化が要因と考えられます。待機者数については、年度当初の30名から年度末には23名へと減少いたしました。近隣地域における介護資源の拡充や、入居検討者の選択肢の多様化が影響しているものと分析しております。このような動向を踏まえ、次年度は稼働率の維持に向けた迅速な入居調整と、地域ニーズに即した相談援助体制の強化に努めてまいります。
2 本年度、当施設における看取り対応件数は29名(前年度18名)と大幅に増加いたしました。これは、住み慣れた場所で最期を迎えたいというご入居者・ご家族の意向を尊重し、信頼関係の構築に努めた結果、看取りを希望されるご家族が増加したことによるものです。
3 看護・介護職員による日々のきめ細かな容態観察の徹底と、異常の早期発見・早期受診という迅速な判断体制を強化いたしました。その結果、急変による入院外泊が減少し、ご入居者の心身の負担軽減とともに、施設における安定した生活継続を実現することができました。外泊者数219名(前年度427名)。
4 SNS(Instagram)を活用した情報発信の強化広報活動の一環としてInstagramの運用に注力いたしました。日々のケアの様子や行事、スタッフの働く姿を積極的に投稿した結果、フォロワー数は約8,600名に達しております。

3. 課題

1 近隣に類似の高齢者福祉施設が多数点在する競合地域であることを踏まえ、本年度は生成AIへの取組による生産性の向上を推進し、エビデンスに基づく介護とゆとりと安心が得られるユニットケアの徹底や看取り体制の充実を図ると共に、法人間連携による相互研鑽体制の推進に努め、他施設との差別化を明確にし、安定した稼働率の維持に注力します。
2 中高年層の豊富な人生経験を活かした傾聴ケアや、外国人スタッフの意欲的な姿勢を最大限に引き出す体制整備を最優先課題とします。それぞれの属性に合わせた研修プログラムの導入や業務の切り分けを行い、多様なスタッフが「当施設の戦力」として誇りを持って働ける環境を構築し、優良な介護人材の確保と長期定着の維持増進に注力します。

事業所名

ショートステイ花ノ木の郷

1. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支2相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	21	23	24	22	20	0	0	0	0	0	0	0	110
要介護2	64	66	64	66	66	84	30	27	29	23	18	23	560
要介護3	100	138	95	133	83	81	52	86	83	92	84	119	1,146
要介護4	118	84	100	102	114	97	125	96	99	99	87	65	1,186
要介護5	0	5	9	0	0	15	31	30	31	31	28	31	211
区変中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計	303	316	292	323	283	277	238	239	242	245	217	238	3,213

(延人数)

中止・外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(件数)

保険請求	14	16	17	16	15	14	14	14	13	14	15	14	176
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(実人数)

新 規	0	2	1	0	1	1	1	0	0	0	2	0	8
終 了	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	2	1	8

2. 概況及び動向

1 感染症による大きな変動は見られていないが、利用していた方の他施設への入居等が影響した際にスピード感のあるベッドコントロールができず、前年比で数字を落としてしまった現状がある。また特養本体に入院等で空床が生じた際の対応も後手に回り、稼働率の向上という運営面での貢献ができなかった。感染症対策による細かい制限が取り除かれたことも踏まえて、空床の円滑な利用も含めてショートステイ全体の稼働率を近隣事業所の中でも秀でたものとしていきたい。

2 令和8年度4月以降、多くの事業所から利用者を紹介頂けている。事業計画書に則り、送迎の調整やチェックイン、チェックアウトの枠組みも今年度中に取りまとめていくことを第一の目標とする。

3. 課題

- 1 近隣事業所からの紹介で新規利用者の獲得が進んでいる。上記の通り、適正なベッドコントロールを実施し、利用者のニーズに十分に対応することを心掛ける必要がある。そのためには常時、最新の稼働状況や空室案内を専用フォームなどを使用しながら伝達していく必要がある。従来のFAXやTELでの案内以外の方法を確認していく必要があり、DXを活用していく先駆的な事業所づくりをユニットメンバーと目指していく。引き続きSNSを活用しながら居宅支援事業所だけでなく、利用者家族へ情報発信を行い、潜在的な利用者の確保に努める。このほどその効果を近隣の事業所等から評価して頂くことも増えている。
- 2 在宅生活を主とする方向けの部屋が2床となっているのが現状であるが、稼働性の高い部屋の実数を確保しながら多くの利用者の獲得を目指し、潜在的な特養入居者の獲得も目指していく。
- 3 感染症への対策には十分に配慮しつつ、ショートステイ花ノ木の郷、独自の強みを打ち出す努力や宣伝に力を入れ、「困ったら花ノ木の郷、安心して過ごすことができる花ノ木の郷」づくりを目指していく。